

医療廃棄物処理委託仕様書（案）

1. 目的

本仕様書は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号。以下「法」という。）並びに関係法令に従い、公立大学法人九州歯科大学（以下「委託者」という。）が排出する医療廃棄物の処理を、受託者（以下「受託者」という。）が受託し、適正に処理することを目的とする。

2. 廃棄物の種類及び数量

（1）廃棄物の種類

| 廃棄物の種類 | 具体例 |
|-------------------------|--|
| 感染性廃棄物 (20ℓプラスチック容器) | 注射器、注射針、メス、歯科用バーなど鋭利なもの、細菌固形培地、シャーレ、フラスコ、抜歯後の歯、破損したガラス製品 |
| 感染性廃棄物 (50ℓプラスチック容器) | |
| 感染性廃棄物 (50ℓダンボール箱) | 血液・唾液などが付着した可燃物（脱脂綿、ガーゼ等）等感染性のある非鋭利なもの |
| 産業廃棄物 (20ℓ麻袋) | 石膏、石膏付着物、埋没材等 |
| 産業廃棄物 (40ℓポリ袋) | アルミホイル、金属、ガラス、ビン等 廃プラ |

（2）年間予定数量

| | | |
|---|---------------------|---------|
| ア | 感染性廃棄物（20ℓプラスチック容器） | 196個 |
| イ | 感染性廃棄物（50ℓプラスチック容器） | 108個 |
| ウ | 感染性廃棄物（50ℓダンボール箱） | 5,885箱 |
| エ | 産業廃棄物（20ℓ麻袋） | 2,018kg |
| オ | 産業廃棄物（40ℓポリ袋） | 437袋 |
| カ | マニフェスト作成 | 242部 |

3. 収集・運搬及び処分

（1）収集・運搬

受託者は、受託した医療廃棄物を、関係法令等を遵守のうえ、適正に収集・運

搬を行う。

(2) 専用容器

受託者は、委託者の指示に従い専用容器を用意し、納品する。

ア 納品する専用容器は、次のとおりとする。

| 容器 | 品名 | 製造元 |
|--|-------------------------------------|--------|
| 20 ^{リットル} プラスチック容器 (ハートマーク有) | メディカルペールK#20 | 三甲株式会社 |
| 50 ^{リットル} プラスチック容器 (ハートマーク有) | メディカルペールK#50 | 三甲株式会社 |
| 50 ^{リットル} ダンボール箱 (ハートマーク有) | 402(L)×295(W)×422(D)のものとし、製造元は特定しない | |
| 20 ^{リットル} 麻袋 | 白色のものとし、製造元は特定しない | |

イ 納品場所は、附属病院1階消毒室とする。

ウ 専用容器調達に要する費用は、委託料に含むものとする。

(3) 排出容器保管場所及び収集日

ア 保管場所 附属病院1階感染性廃棄物保管室及びゴミ集積場

イ 収集日 原則週2回とし、委託者の指示による

(4) 処分

医療廃棄物の処分は、関係法令等を遵守のうえ、適正に中間処理・最終処分を実施するものとする。

4. 業務確認

(1) 委託者は、医療廃棄物の排出の都度、産業廃棄物管理票（マニフェスト）に必要事項を記入し、交付する。受託者は、この産業廃棄物管理票（マニフェスト）を医療廃棄物とともに処分業者へ回付する。

(2) 委託者は、返却された産業廃棄物管理票（マニフェスト）により業務の確認を行う。

5. 適正処理に必要な情報の提供

委託者は、委託する医療廃棄物の適正な処分のために必要な情報として、次の情報をあらかじめ受託者に提供する。

(1) 医療廃棄物の発生工程

九州歯科大学から発生

(2) 医療廃棄物の性状及び荷姿

別表のとおり

- | | |
|---|--------|
| (3) 腐敗、揮発等性状の変化に関する事項 | 別表のとおり |
| (4) 混合等により生じる支障 | 別表のとおり |
| (5) 日本工業規格 C0950 号に規定する含有マークが付された廃製品の場合には、 含有マーク表示に関する事項 | 別表のとおり |
| (6) その他取扱の注意事項 | 別表のとおり |

6. 資格等

- (1) 受託者は、法第14条第1項及び第14条の4第1項の規定に基づき、本件の処理に関する全ての許可を受けた者でなければならない。
- (2) 委託者は、医療廃棄物の処分について、法第14条第6項及び第14条の4第6項の規定に基づき、本件の処理に関する許可を受けた者に行わせるものとする。ただし、受託者が自ら処分業務を行わない場合は、当該許可を受けている、受託者が処分に関する業務提携を行っている者に行わせるものとする。
- (3) 受託者は、産業廃棄物処理及び特別管理産業廃棄物処理の許可を受けたことを証明する書類（(2)における受託者の業務提携業者の分を含む。）を委託者に提出し、確認を受けなければならない。契約後、変更があった場合も同様とする。

7. 責任

受託者は、委託者から委託された医療廃棄物を、法令に基づき適正に管理する責任を負う。この間に発生した事故は、その原因が委託者の責に帰すべき場合を除き、受託者が責任を負うものとする。

8. 業務遂行注意事項

業務遂行にあたっては、次の各号のことに注意しなければならない。

- (1) 病院業務に支障を及ぼさないこと。また、業務に支障のおそれがあるときは事前に委託者へ連絡すること。
- (2) 業務従事者は、医療廃棄物処理に熟練したものを派遣するものとする。
- (3) 作業にあたっては、服装、用具を整え、事故防止に努めること。

9. 委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

10. その他

- (1) この仕様書に定めない細部事項については、委託者、受託者協議の上、決定するものとする。ただし、軽微な事項については委託者の指示に従うものとする。
- (2) 収集・運搬・処分の業務全てに係る入札書の提出、委託契約の締結、委託料の請求及び受領については受託者が行う。ただし、収集・運搬業者と処分業者が異なる場合は、別途、医療廃棄物に係る収集・運搬に関する契約は、委託者と受託者の間で締結し、処分に関する契約については、委託者と受託者が処分に関する業務提携を行っている処分業者との間で締結する。
- (3) 収集・運搬業者と処分業者が異なる場合、受託者は、委託者から受領した委託料から応分の額を処分業者に支払わなければならない。